



## A コマンド

---

この章では、A で始まる Cisco NX-OS セキュリティ コマンドについて説明します。

# aaa accounting default

アカウントिंगの Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントング) 方式を設定するには、**aaa accounting default** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
aaa accounting default {group {group-list} | local}
```

```
no aaa accounting default {group {group-list} | local}
```

## 構文の説明

<b>group</b>	サーバグループをアカウントングで使用するよう指定します。
<i>group-list</i>	1 つ以上の設定済みの RADIUS サーバグループを指定する空白で区切られたリストです。
<b>local</b>	ローカル データベースをアカウントングで使用するよう指定します。

## コマンドデフォルト

ローカル データベースがデフォルトです。

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**group group-list** メソッドは、以前に定義された一連の RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバを参照します。ホストサーバを設定するには、**radius server-host** コマンドを使用します。サーバのネームドグループを作成するには、**aaa group server** コマンドを使用します。

**group** 方式または **local** 方式を指定した場合にその方式が失敗すると、アカウントング認証は失敗する可能性があります。

## 例

次に、AAA アカウントングに任意の RADIUS サーバを設定する例を示します。

```
switch(config)# aaa accounting default group
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>aaa group server radius</b>	AAA RADIUS サーバグループを設定します。
<b>radius-server host</b>	RADIUS サーバを設定します。
<b>show aaa accounting</b>	AAA アカウントング ステータス情報を表示します。
<b>tacacs-server host</b>	TACACS+ サーバを設定します。

# aaa authentication login console

コンソール ログインの Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントリング) 認証方式を設定するには、**aaa authentication login console** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
aaa authentication login console {group group-list} [none] | local | none}
```

```
no aaa authentication login console {group group-list} [none] | local | none}
```

## 構文の説明

<b>group</b>	認証にサーバグループを使用するように指定します。
<b>group-list</b>	RADIUS サーバグループまたは TACACS+ サーバグループのスペースで区切られたリストを指定します。リストには、次のようなサーバグループを含めることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>radius</b> : 設定済みのすべての RADIUS サーバ</li> <li>• <b>tacacs+</b> : 設定済みのすべての TACACS+ サーバ</li> <li>• 設定済みの任意の RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバのサーバグループ名</li> </ul>
<b>none</b>	(任意) 認証にユーザ名を使用するように指定します。
<b>local</b>	(任意) 認証にローカルデータベースを使用するように指定します。

## コマンドデフォルト

ローカル データベース

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**group radius**、**group tacacs+**、および **group group-list** の各方式は、以前に定義された一連の RADIUS または TACACS+ サーバを指します。ホストサーバを設定するには、**radius-server host** コマンドまたは **tacacs-server host** コマンドを使用します。サーバのネームドグループを作成するには、**aaa group server** コマンドを使用します。

**group** 方式または **local** 方式を指定した場合にその方式が失敗すると、認証は失敗する可能性があります。**none** 方式を単独または **group** 方式の後ろに指定した場合、認証は常に成功します。

## 例

次に、コンソール ログインの AAA 認証方式を設定する例を示します。

```
switch(config)# aaa authentication login console group radius
```

次に、デフォルトのコンソール ログインの AAA 認証方式に戻す例を示します。

```
switch(config)# no aaa authentication login console group radius
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>aaa group server</b>	AAA サーバ グループを設定します。
<b>radius-server host</b>	RADIUS サーバを設定します。
<b>show aaa authentication</b>	AAA 認証情報を表示します。
<b>tacacs-server host</b>	TACACS+ サーバを設定します。

# aaa authentication login default

デフォルトの Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントिंग) 認証方式を設定するには、**aaa authentication login default** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
aaa authentication login default {group group-list} [none] | local | none}
```

```
no aaa authentication login default {group group-list} [none] | local | none}
```

## 構文の説明

<b>group</b>	サーバグループを認証で使用するよう指定します。
<b>group-list</b>	RADIUS サーバグループまたは TACACS+ サーバグループをスペースで区切って指定します。リストには、次のようなサーバグループを含めることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>radius</b> : 設定済みのすべての RADIUS サーバ</li> <li>• <b>tacacs+</b> : 設定済みのすべての TACACS+ サーバ</li> <li>• 設定済みの任意の RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバのサーバグループ名</li> </ul>
<b>none</b>	(任意) ユーザ名を認証で使用するよう指定します。
<b>local</b>	(任意) ローカルデータベースを認証で使用するよう指定します。

## コマンドデフォルト

ローカルデータベース

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**group radius**、**group tacacs+**、および **group group-list** の各方式は、以前に定義された一連の RADIUS または TACACS+ サーバを指します。ホストサーバを設定するには、**radius-server host** コマンドまたは **tacacs-server host** コマンドを使用します。サーバのネームドグループを作成するには、**aaa group server** コマンドを使用します。

**group** 方式または **local** 方式を指定した場合にその方式が失敗すると、認証は失敗します。**none** 方式を単独または **group** 方式の後ろに指定した場合、認証は常に成功します。

## 例

次に、コンソールログインの AAA 認証方式を設定する例を示します。

```
switch(config)# aaa authentication login default group radius
```

次に、デフォルトのコンソールログインの AAA 認証方式に戻す例を示します。

```
switch(config)# no aaa authentication login default group radius
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>aaa group server</b>	AAA サーバ グループを設定します。
<b>radius-server host</b>	RADIUS サーバを設定します。
<b>show aaa authentication</b>	AAA 認証情報を表示します。
<b>tacacs-server host</b>	TACACS+ サーバを設定します。

# aaa authentication login error-enable

コンソールに Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントिंग) 認証失敗メッセージが表示されるように設定するには、**aaa authentication login error-enable** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**aaa authentication login error-enable**

**no aaa authentication login error-enable**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

ディセーブル

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

ログイン時にリモート AAA サーバからの応答がない場合には、ローカル ユーザ データベースへのロールオーバーによってログインが処理されます。このような状況では、ログイン失敗メッセージの表示がイネーブルに設定されている場合、次のメッセージが表示されます。

```
Remote AAA servers unreachable; local authentication done.  
Remote AAA servers unreachable; local authentication failed.
```

## 例

次に、AAA 認証失敗メッセージのコンソールへの表示をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# aaa authentication login error-enable
```

次に、AAA 認証失敗メッセージのコンソールへの表示をディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# no aaa authentication login error-enable
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show aaa authentication</b>	AAA 認証失敗メッセージ表示のステータスを表示します。

# aaa authentication login mschap enable

ログイン時の Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol (MS-CHAP; マイクロソフト チャレンジ ハンドシェーク 認証プロトコル) 認証をイネーブルにするには、**aaa authentication login mschap enable** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**aaa authentication login mschap enable**

**no aaa authentication login mschap enable**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

ディセーブル

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、MS-CHAP 認証をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# aaa authentication login mschap enable
```

次に、MS-CHAP 認証をディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# no aaa authentication login mschap enable
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show aaa authentication</b>	MS-CHAP 認証のステータスを表示します。



# aaa authorization commands default

すべての EXEC コマンドでデフォルトの Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントリング) 認可方式を設定するには、**aaa authorization commands default** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**aaa authorization commands default** [*group group-list*] [**local** | **none**]

**no aaa authorization commands default** [*group group-list*] [**local** | **none**]

## 構文の説明

<b>group</b>	(任意) 認可にサーバグループを使用するように指定します。
<i>group-list</i>	サーバグループのリストです。  リストには、次のようなサーバグループを含めることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>tacacs+</b> : 設定済みのすべての TACACS+ サーバ</li> <li>• 設定済みの任意の TACACS+ サーバグループ名</li> </ul> この名前は、サーバグループのスペースで区切られたリストで指定でき、最大文字数は 127 です。
<b>local</b>	(任意) 認可にローカルロールベースデータベースを使用するように指定します。
<b>none</b>	(任意) 認可にデータベースを使用しないように指定します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature tacacs+** コマンドを使用して TACACS+ 機能をイネーブルにする必要があります。

**group tacacs+** 方式および **group group-list** 方式は、以前に定義された一連の TACACS+ サーバを指します。ホストサーバを設定するには、**tacacs-server host** コマンドを使用します。サーバのネームドグループを作成するには、**aaa group server** コマンドを使用します。デバイス上のサーバグループを表示するには、**show aaa group** コマンドを使用します。

複数のサーバグループを指定した場合には、リストに指定した順番どおりに Cisco NX-OS ソフトウェアが各グループをチェックします。設定済みのすべてのサーバグループで応答に失敗し、フォールバック方式として **local** または **none** を設定済みの場合、**local** 方式または **none** 方式だけが使用されません。

**group** 方式または **local** 方式を指定した場合にその方式が失敗すると、認可は失敗する可能性があります。 **none** 方式を単独または **group** 方式の後ろに指定した場合、認可は常に成功します。

**例**

次に、EXEC コマンドでデフォルト AAA 認可方式を設定する例を示します。

```
switch(config)# aaa authorization commands default group TacGroup local
switch(config)#
```

次に、EXEC コマンドでデフォルト AAA 認可方式に戻す例を示します。

```
switch(config)# no aaa authorization commands default group TacGroup local
switch(config)#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>aaa authorization config-commands default</b>	コンフィギュレーション コマンドでデフォルト AAA 認可方式を設定します。
<b>aaa server group</b>	AAA サーバ グループを設定します。
<b>feature tacacs+</b>	TACACS+ 機能をイネーブルにします。
<b>show aaa authorization</b>	AAA 認可設定を表示します。
<b>tacacs-server host</b>	TACACS+ サーバを設定します。

# aaa authorization config-commands default

すべてのコンフィギュレーション コマンドでデフォルトの Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントिंग) 認可方式を設定するには、**aaa authorization config-commands default** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**aaa authorization config-commands default** [*group group-list*] [*local | none*]

**no aaa authorization config-commands default** [*group group-list*] [*local | none*]

## 構文の説明

<b>group</b>	(任意) 認可にサーバ グループを使用するように指定します。
<b>group-list</b>	サーバ グループのリストです。  リストには、次のようなサーバ グループを含めることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>tacacs+</b> : 設定済みのすべての TACACS+ サーバ</li> <li>• 設定済みの任意の TACACS+ サーバ グループ名</li> </ul> この名前は、サーバ グループのスペースで区切られたリストで指定でき、最大文字数は 127 です。
<b>local</b>	(任意) 認可にローカル ロールベース データベースを使用するように指定します。
<b>none</b>	(任意) 認可にデータベースを使用しないように指定します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature tacacs+** コマンドを使用して TACACS+ 機能をイネーブルにする必要があります。

**group tacacs+** 方式および **group group-list** 方式は、以前に定義された一連の TACACS+ サーバを指します。ホスト サーバを設定するには、**tacacs-server host** コマンドを使用します。サーバのネームドグループを作成するには、**aaa group server** コマンドを使用します。デバイス上のサーバ グループを表示するには、**show aaa group** コマンドを使用します。

複数のサーバ グループを指定した場合には、リストに指定した順番どおりに Cisco NX-OS ソフトウェアが各グループをチェックします。設定済みのすべてのサーバ グループで応答に失敗し、フォールバック方式として **local** または **none** を設定済みの場合、**local** 方式または **none** 方式だけが使用されます。

**group** 方式または **local** 方式を指定した場合にその方式が失敗すると、認可は失敗する可能性があります。 **none** 方式を単独または **group** 方式の後ろに指定した場合、認可は常に成功します。

**例**

次に、コンフィギュレーション コマンドでデフォルト AAA 認可方式を設定する例を示します。

```
switch(config)# aaa authorization config-commands default group TacGroup local
switch(config)#
```

次に、コンフィギュレーション コマンドでデフォルト AAA 認可方式に戻す例を示します。

```
switch(config)# no aaa authorization config-commands default group TacGroup local
switch(config)#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>aaa authorization commands default</b>	EXEC コマンドでデフォルト AAA 認可方式を設定します。
<b>aaa server group</b>	AAA サーバ グループを設定します。
<b>feature tacacs+</b>	TACACS+ 機能をイネーブルにします。
<b>show aaa authorization</b>	AAA 認可設定を表示します。
<b>tacacs-server host</b>	TACACS+ サーバを設定します。

# aaa authorization ssh-certificate

TACACS+ サーバのデフォルト認証、許可、およびアカウントिंग (AAA) 認可方式を設定するには、**aaa authorization ssh-certificate** コマンドを使用します。この設定をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
aaa authorization ssh-certificate default {group group-list | local}
```

```
no aaa authorization ssh-certificate default {group group-list | local}
```

## 構文の説明

<b>group</b>	認可にサーバ グループを使用するように指定します。
<b>group-list</b>	サーバ グループのスペースで区切られたリスト。リストには、次のようなサーバ グループを含めることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>tacacs+</b> : 設定済みのすべての TACACS+ サーバ</li> <li>設定済みの任意の TACACS+ サーバ グループ名。サーバ グループの名前は最大 127 文字です。</li> </ul>
<b>local</b>	認証にローカル データベースを使用するように指定します。

## コマンド デフォルト

**local**

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature tacacs+** コマンドを使用して TACACS+ 機能をイネーブルにする必要があります。

**group tacacs+** 方式および **group group-list** 方式は、以前に定義された一連の TACACS+ サーバおよび LDAP サーバを指します。ホスト サーバを設定するには、**tacacs-server host** コマンドを使用します。サーバのネームド グループを作成するには、**aaa group server** コマンドを使用します。デバイス上のサーバ グループを表示するには、**show aaa group** コマンドを使用します。

複数のサーバ グループを指定した場合には、リストに指定した順番どおりに Cisco NX-OS ソフトウェアが各グループをチェックします。設定済みのすべてのサーバ グループで応答に失敗し、フォールバック方式として **local** を設定済みの場合、**local** 方式だけが使用されます。

**group** 方式または **local** 方式を指定した場合にそれらの方式が失敗すると、認可は失敗する可能性があります。TACACS+ または LDAP サーバ グループ方式の後に、フォールバック方式を設定していない場合、すべてのサーバ グループが応答に失敗すると、認可が失敗します。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

**例**

次に、デフォルトの AAA 認可方式として、証明書認証を使用してローカル データベースを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# aaa authorization ssh-certificate default local
switch(config)#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>aaa authorization ssh-publickey</b>	デフォルト AAA 認可方式として、SSH 公開キーを使用したローカル認可を設定します。
<b>feature tacacs+</b>	TACACS+ 機能をイネーブルにします。
<b>show aaa authorization</b>	AAA 認可設定を表示します。

# aaa authorization ssh-publickey

TACACS+ サーバのデフォルトの AAA 許可方式として Secure Shell (SSH) 公開キーでローカル認可を設定するには、**aaa authorization ssh-publickey** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
aaa authorization ssh-publickey default {group group-list | local}
```

```
no aaa authorization ssh-publickey default {group group-list | local}
```

## 構文の説明

<b>group</b>	認可にサーバ グループを使用するように指定します。
<b>group-list</b>	サーバ グループのスペースで区切られたリスト。サーバ グループの名前は最大 127 文字です。
<b>local</b>	認証にローカル データベースを使用するように指定します。

## コマンドデフォルト

local

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

複数のサーバ グループを指定した場合には、リストに指定した順番どおりに Cisco NX-OS ソフトウェアが各グループをチェックします。設定済みのすべてのサーバ グループで応答に失敗し、フォールバック方式として **local** を設定済みの場合、**local** 方式だけが使用されます。

**group** 方式または **local** 方式を指定した場合にそれらの方式が失敗すると、認可は失敗する可能性があります。サーバ グループの方式のあとにフォールバック方式を設定していないと、すべてのサーバ グループから応答が得られなかった場合は認可が失敗します。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、デフォルトの AAA 認可方式として、SSH 公開キーを使用したローカル認可を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# aaa authorization ssh-publickey default local
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>aaa authorization ssh-certificate</b>	デフォルト AAA 認可方式として、証明書認証を使用したローカル認可を設定します。
<b>show aaa authorization</b>	AAA 認可設定を表示します。



# aaa group server radius

RADIUS サーバ グループを作成して、RADIUS サーバ グループ コンフィギュレーション モードを開始するには、**aaa group server radius** コマンドを使用します。RADIUS サーバ グループを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
aaa group server radius group-name
```

```
no aaa group server radius group-name
```

## 構文の説明

<i>group-name</i>	RADIUS サーバ グループ名です。
-------------------	---------------------

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、RADIUS サーバ グループを作成し、RADIUS サーバ コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
switch(config)# aaa group server radius RadServer  
switch(config-radius)#
```

次に、RADIUS サーバ グループを削除する例を示します。

```
switch(config)# no aaa group server radius RadServer
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show aaa groups</b>	サーバ グループ情報を表示します。

# aaa user default-role

リモート認証の Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントिंग) サーバ管理者により割り当てられるデフォルト ロールをイネーブルにするには、**aaa user default-role** コマンドを使用します。デフォルト ロールをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**aaa user default-role**

**no aaa user default-role**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

イネーブル

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、リモート認証の AAA サーバ管理者により割り当てられるデフォルト ロールをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# aaa user default-role
switch(config)#
```

次に、リモート認証の AAA サーバ管理者により割り当てられるデフォルト ロールをディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# no aaa user default-role
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show aaa user default-role</b>	デフォルト ユーザのリモート認証のステータスを表示します。
<b>show aaa authentication</b>	AAA 認証情報を表示します。

# access-class

特定の VTY（Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチ）とアクセス リスト内のアドレス間の着信および発信接続を制限するには、**access-class** コマンドを使用します。アクセス制限を解除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
access-class access-list-name {in | out}
```

```
no access-class access-list-name {in | out}
```

## 構文の説明

<i>access-list-name</i>	IPv4 ACL クラスの名前。この名前には最大 64 文字までの英数字を指定できます。名前にはスペースまたは引用符を含めることはできません。
<b>in</b>	着信接続が特定の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチとアクセス リストのアドレス間で制限されていることを指定します。
<b>out</b>	発信接続が特定の Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチとアクセス リストのアドレス間で制限されていることを指定します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

ライン コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

シスコ デバイスに対する Telnet または SSH を受け入れると、アクセス クラスを VTY にバインドしてデバイスへのアクセスを確保できます。

特定の端末ラインのアクセス リストを表示するには、**show line** コマンドを使用します。

## 例

次の例では、着信パケットを制限するために VTY 回線のアクセス クラスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# line vty
switch(config-line)# access-class ozi2 in
switch(config-line)#
```

次の例では、着信パケットを制限するアクセス クラスを削除する例を示します。

```
switch(config)# line vty
switch(config-line)# no access-class ozi2 in
switch(config-line)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ip access-class</b>	IPv4 アクセス クラスを設定します。
<b>show access-class</b>	スイッチで設定されるアクセス リストを表示します。
<b>show line</b>	特定の端末ラインのアクセス リストを表示します。
<b>show running-config aclmgr</b>	ACL の実行コンフィギュレーションを表示します。
<b>ssh</b>	IPv4 を使用して SSH セッションを開始します。
<b>telnet</b>	IPv4 を使用して Telnet セッションを開始します。

# action

パケットが VLAN アクセス コントロール リスト (VACL) の **permit** コマンドと一致した場合にスイッチが実行する処理を指定するには、**action** コマンドを使用します。**action** コマンドを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**action {drop forward}**

**no action {drop forward}**

## 構文の説明

<b>drop</b>	スイッチがパケットをドロップするように指定します。
<b>forward</b>	スイッチがパケットを、その宛先ポートに転送するように指定します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

VLAN アクセスマップ コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**action** コマンドでは、**match** コマンドによって指定された ACL 内の条件にパケットが一致した場合に、デバイスが実行する処理を指定します。

## 例

次に、vlan-map-01 という名前で VLAN アクセス マップを作成して、そのマップに ip-acl-01 という名前の IPv4 ACL を割り当て、スイッチが ACL に一致するパケットを転送するよう指定し、マップに一致するトラフィックの統計情報をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# vlan access-map vlan-map-01
switch(config-access-map)# match ip address ip-acl-01
switch(config-access-map)# action forward
switch(config-access-map)# statistics
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>match</b>	VLAN アクセス マップにトラフィック フィルタリングの ACL を指定します。
<b>show vlan access-map</b>	すべての VLAN アクセス マップまたは 1 つの VLAN アクセス マップを表示します。
<b>show vlan filter</b>	VLAN アクセス マップが適用されている方法に関する情報を表示します。
<b>statistics</b>	アクセス コントロール リストまたは VLAN アクセス マップの統計情報をイネーブルにします。

コマンド	説明
<b>vlan access-map</b>	VLAN アクセス マップを設定します。
<b>vlan filter</b>	1 つ以上の VLAN に VLAN アクセス マップを適用します。

# arp access-list

Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) ACL を作成するか、特定の ARP ACL の ARP アクセス リスト コンフィギュレーション モードを開始するには、**arp access-list** コマンドを使用します。ARP ACL を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**arp access-list** *access-list-name*

**no arp access-list** *access-list-name*

## 構文の説明

<i>access-list-name</i>	ARP ACL の名前。名前では最大 64 文字までの英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。名前にはスペースまたは引用符を含めることはできません。
-------------------------	--

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン



(注)

Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) 以降、ARP アクセス リストは、Control Plane Policing (CoPP) に対してだけサポートされます。

DHCP スヌーピングを使用できない場合は、ARP ACL を使用して ARP トラフィックをフィルタリングします。

デフォルトでは、ARP ACL は定義されていません。

## 例

次に、**copp-arp-acl** という名前の ARP ACL の ARP アクセス リスト コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# arp access-list copp-arp-acl
switch(config-arp-acl)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>deny</b> (ARP)	ARP ACL に拒否 (deny) ルールを設定します。

コマンド	説明
<b>permit (ARP)</b>	ARP ACL の許可ルールを設定します。
<b>show arp access-lists</b>	すべての ARP ACL または特定の ARP ACL を表示します。